

# 銅事業との邂逅

(社)日本銅センター副会長  
株式会社神戸製鋼所専務取締役

中山 裕之

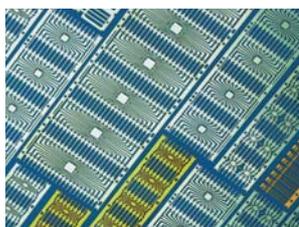


当社が銅系の半導体リードフレーム材料の製造に着手したのは1978年になります。当時この分野で先行していた米国に追い付け、追い越せと当社でも精力的に合金の開発を行なっておりました。余談ですが、トランジスタ、IC用途などとして開発した合金シリーズを青い表紙のカタログに掲載してPRしてまわったところ、海外のユーザーからは何時しかブルーブックと呼ばれるようになつた逸話があります。

その後、この領域での川下統合を進めていくことの事業方針により、門司工場(現 神鋼リードミック(株))でスタンピングによるリードフレームの生産を開始した1984年が、私の銅事業との思いもかけない出会いになります。半導体産業の成長により、リードフレーム分野への期待も高かったのですが、私が門司で携わつた5年間は苦難の連続でした。当時、何とか海外向けを中心に需要家を開拓したものの、1985年のプラザ合意後の急激な円高による為替差損、国際競争力の低下など……。

物事の黎明期には予期せぬ事に出くわす事があります。物を作り始める事業についても同じ事が言えます。幸運な神風が吹く事は稀で、多くの場合、苦難に満ちています。私

の場合も、当手を振り返つて見ると正直ほろ苦さを感じますが、諦めなくて良かったと思います。幸いにも、銅は優れた素材であり、その特性を活かして、これからも必需品で在り続けるでしょうし。



半導体リードフレーム



門司工場時代、前列左から2人目筆者

## 銅

### 目次

- 2 カパーロマン  
銅事業との邂逅  
中山 裕之
- 3 銅の歴史物語  
もうひとつの「富本銭」  
ルポルタージュ
- 4 銅とくらしのロータリー  
食文化と銅
- 6 リレー随想  
フランス北部  
銅をめぐる追憶の旅
- 8 ユーザー訪問  
能美防災(株)  
カパーワールド
- 10 阪神・淡路大震災〜あの時、そしていま  
カパーワールド  
カパーワールドチャーター
- 11 広がりを見せる「硫化いぶし銅板」  
銅を学ぶ銅話の世界
- 12 バランスの良い食事と微量金属(ミネラル)の大切さ  
ワールドレポート
- 13 ICA News/トピックス  
銅センターニュース
- 14